

見どころ案内

紅葉・黄葉

(ムクロジ科他)

カエデ園の紅葉も色褪せ始め…。落ち葉を踏みしめながら紅葉の木々の間を散策してみるのはいかがでしょう。

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (10/19~12/24)

特別企画展 種子の不思議展

◇展示温室(11/23~12/25)

クリスマス飾るフラワー展

◇イベント広場他(11/23~12/22までの土日)

花と光のページェント(夜間開園)

カラマツ (マツ科)

漢字で書くと、「唐松」ですが、日本固有種です。また、唯一の落葉する針葉樹です。信州や北海道では、戦後の拡大造林の時代に大量に植林されました。軽井沢の自然を歌った野上彰の「落葉松」は名曲です。

サネカズラ (マツバサ科)

赤い実は薬用です(生薬「南五味子」)。つるを刻んで水で伸ばした粘り気のある液体を整髪料に用いたことから、美男蔓(ピナンカズラ)の別名もあります。日本(関東以西)・朝鮮・中国に自生しています。

ファウカリア (ツルナ科)

南アフリカ原産の多肉植物。葉の縁に鋭い鋸歯が並び、動物の口のように見えます。花はマツバギクに似ています。

マニラヤシ (ヤシ科)

フィリピン原産(固有種)の中形のヤシ。果実が赤く色づくことから、クリスマスパームとも呼ばれます。

ホワイトサポテ (ミカン科)

メキシコ~中米原産の常緑高木。ミカン科の植物ですが、バナナや洋ナシを混ぜたようなクリーミーな食味です。

クロガネモチ (モチノキ科)

濃い緑葉と赤実のコントラストが美しいです。雌雄異株なので、赤い実が付いている株は雌株です。樹皮から鳥もちを作ることができますが、小鳥を捕ることは鳥獣保護法で禁止されています。

グランサムツバキ

(ツバキ科)

香港原産のツバキの一種。白い大きな花に黄色の雄しべが目立ち、色も大きさも目玉焼きのように見えます。

野生ギクの花壇

本園の野生ギクの多くは、広島大学植物遺伝子保管実験施設[キク属のバイオリソースセンター]から譲り受けたものです。今回は特設花壇を設け、キクタニギクなど18種の野生ギクを展示しています。多様に進化した花姿を観察してみてください。

セイヨウヒイラギ

(モチノキ科)

英語ではホーリー(Holly)と呼び、赤い実のついた枝はクリスマスの装飾に用いられます。雌雄異株ですが、単為結果するので、雌株のみで実が付きまます。モクセイ科ではなくモチノキの仲間で、ヒイラギモチとも呼ばれます。

コウヨウザン (ヒノキ科)

スギに代わり、広島県が推奨する造林樹種として注目が集まっています。中国語では、本種を杉(シャン)、日本の杉は柳杉と呼称します。

